

News! the 世界遺産

第6回 世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール

平成 24 年度の「世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール」は「未来に残したい鎌倉」というテーマで作品募集が行われ、市内の中学生から 582 点もの力作が寄せられました。この中から 3 度の選考を経て、最優秀賞 1 点、優秀賞 4 点、佳作 6 点が選ばれ、本年 1 月 19 日に鎌倉市議会本会議場で表彰式が行われました。

このコンクールは、鎌倉の世界遺産登録へ関心を

深めてもらうため、鎌倉市青少年指導員連絡協議会と当推進協議会の主催で開催されており、今回で 6 回を数えます。これまでの応募総数は 3 千名近くにのぼり、中学生のみなさんが世界遺産登録をめざす鎌倉について理解を深め、鎌倉の文化を後世にしっかりと継承していく決意を示すものとなっています。

以下に今回の最優秀賞の作文を掲載します。

「未来に残したい鎌倉」

岩瀬中学校 3 年 川崎 幹由

鎌倉には、伝説や由来を秘めた「鎌倉五山」「鎌倉十井」「鎌倉七切通し」など興味深い場所がたくさんある。

その場所の中から一つ選ぶなら、私は特に「鎌倉の切通し」を選びたい。この間、久々に鎌倉の仮粧坂と亀ヶ谷坂を歩いてみた。自分の中で切通しとは、山・丘などを切り開いた道であり、ごつごつした岩や石がたくさんある滑りやすい道だ、という印象が強かった。もちろんとても歩きにくくて、幼い頃には父の手を借りながらようやく歩けた坂だった。ただ、そんな道を通るからこそ、自分は鎌倉時代の武士たちも通った道歩いている、という気持ちになった。私はそんな歴史のある景色の中を歩くのが好きだ。

だからこそ、初めて名前を意識しながら歩いた亀ヶ谷坂が、急な坂道であっても、道の両側には切りたった崖があったとしてもそれはあたりまえなこと、路面が歩きやすく、舗装されていたことが残念だった。なんだか歴史の重みを感じられなかった。もちろん、安全面や生活のしやすさを考えると、すべての切通しが仮粧坂のようだと困るということも分かる。ただ、便利さのために安易に道が舗装されて金網がはりめぐらされるのは、もったいない気がする。鎌倉時代からの歴史を今も受け継ぎ、きちんとそれが感じられる場所にする。これが、「鎌倉」を広く伝えるために重要なことだと思う。

昔のままの状態で、多くの物を保存し受け継ぐためには、世界遺産に登録され、もっと多くの人々に知ってもらう必要がある、と考える。鎌倉は八百年以上も前に鎌倉幕府が開かれた場所だ。その鎌倉の良さを多くの人に伝えるために、鎌倉はもっと鎌倉時代の人々の生活や思いを感じとることができる場所になってほしい。切通しの整備をするのではなく、通りにくい道も積極的に残しておく。そうすることで、昔の鎌倉がどのような場所だったか、その様子が目に浮かぶ。また、そのことは、未来にもこの場所と鎌倉時代を残すことにつながる。

私は世界遺産といえば、広島の厳島神社と原爆ドームに行ったことがある。海の中にある厳島神社の存在の不思議な感じと、おそろしいほどの鹿の数は、一生忘れない。また、原爆ドームを見て、こんな戦争は二度と起きてはならない、と思った。未来に残したい世界遺産といえば、そんな強烈さが大切なんだ、と考えた。

鎌倉に住んでいる私達にとって、鎌倉の歴史を守り続けることが、自分達の役目だと思う。そして、今回切通しを歩くことで、私はそのことに気づくことができた。その役目をきちんと果たすためにも、鎌倉には世界遺産の登録をめざしてほしい。鎌倉が世界遺産となり、多くの人々の心に未来まで残ることを私は願う。